

小中高校向け Adobe Creative Cloud ユーザー指定ライセンス 新規導入ガイド

Society 5.0時代を生きる子どもたちに必要な
情報教育の実現に向けた、クラウドを最大限に活用した
学習環境の導入とその流れをご紹介します。



Adobe Creative Cloud小中高校サイトライセンス 3つのPOINT

POINT 1



高校の
2022年必修修化の「情報I」
に対応

POINT 2



最新アプリやサービス
を好きなタイミングで
利用可能

POINT 3



Google・Azure AD
などと連携可能

ご利用ニーズや環境に合わせてライセンスプランをお選びいただけます

	BYODで利用するなら ユーザー指定ライセンス	PCルームなどで利用するなら 共有デバイスライセンス
利用時の利点	 <p>自宅と学校の両方で使える</p>	 <p>1台のデバイスを複数名で使える</p>
ライセンスの所属先	 <p>ユーザーIDに紐付く</p>	 <p>デバイスに紐付く</p>
使用可能なアプリとサービス	 <p>最新のCreative Cloudアプリケーションと オンラインサービス</p>	 <p>最新のCreative Cloudアプリケーションと オンラインサービス*1</p>
最低発注本数と価格	<p>先生・生徒250人分で 135,250円(税込)(本体価格123,000円)／年*2</p> <p>▼</p> <p>1ユーザーあたり約500円※／年</p> <p>※ 最低発注本数250本以上の場合(税込、十の位四捨五入)</p>	<p>デバイス50台分で 163,700円(税込)(本体価格148,800円)／年*2</p> <p>▼</p> <p>1台あたり約3,300円※／年</p> <p>※ 最低発注本数50本以上の場合(税込、十の位四捨五入)</p>

* いずれのライセンスもAdminコンソールでのデバイスの指定、ユーザーの指定が必要です。ユーザーは組織に属する教職員・児童・生徒に限りです。

*1 共有デバイスライセンスの場合、利用できる内容や条件の詳細はユーザーに紐付くライセンス内容(無償メンバーシップ、有償メンバーシップなど)によって異なります。

*2 上記はメーカー参考価格です。なお教育委員会サイトライセンスの場合、最低発注本数が異なります。

事前準備

1 ユーザーIDの運用環境やルールの選定

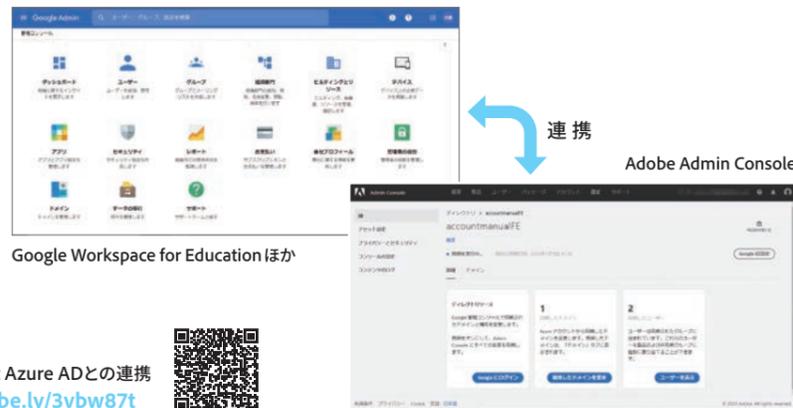
生徒や教員のユーザーIDを運用・管理する環境を整備し、状況に応じて使用ルールに基づいたグループ分けなどを行います。運用環境にGoogle Workspace for EducationやMicrosoft Azure ADを選択すると、アドビのサービスとの連携がスムーズです。

▼ ID の設定
<https://adobe.ly/3aldA3p>



2 Google Workspace for Educationなどとのフェデレーション設定

Google Workspace for EducationやMicrosoft Azure ADなどのエンタープライズディレクトリをIDプロバイダー (IdP) として使うことで、ユーザーの認証情報をアドビへ提供し、シングルサインオンが可能になります。設定後、ID情報は自動で同期されます。また、ドメインも同期されます。



▼ Google Workspace for Educationとの連携
<http://adobe.ly/3eqjXt0>



▼ Microsoft Azure ADとの連携
<http://adobe.ly/3vbw87t>



3 Federated IDのドメインクレーム

ディレクトリの作成、ドメインの追加、ドメインの検証、ドメインとディレクトリの登録 (リンク) の順に行います。

※手順2でAzure・Googleコネクタでフェデレーション設定した場合は、ドメインも同期されるのでAdmin Consoleでのドメインクレームは不要です。

▼ ドメインクレームの流れ
<http://adobe.ly/2Zntvkt>



4 製品プロファイル割り当てなどの設定

各自でクラウドストレージが利用できるよう、Adobe Sparkの製品プロファイルの割り当てなどを設定します。そのほかの各種設定も、Web管理ツール「Admin Console」による一元的な運用が可能なので、導入後の管理負担も軽減されます。

▼ Admin Console での各種設定
<https://adobe.ly/2Seodog>



▼ Sparkへのアクセス
<http://adobe.ly/3vr7FeF>



5 ユーザーの割り当て

Admin Consoleの画面の指示に従い、製品を使用するユーザーの設定 (ユーザー割り当て) を実行します。

▼ ユーザーの管理
<http://adobe.ly/2OGVo4j>



6 パッケージ (インストーラー) の作成

ライセンスやアプリケーションをまとめたパッケージを作成します。Admin Console上で、OSの種類や使用言語などを選択していくと、必要なファイルが自動的に作成されます。

▼ ユーザー指定ライセンスのパッケージ作成
<http://adobe.ly/3bc2uGj>



導入日当日

ライセンス移行の場合 デバイスライセンスのアンインストール

デバイスライセンスまたは共有デバイスライセンスからユーザー指定ライセンスへ移行するときは、あらかじめ過去にインストールされたすべての製品とライセンスをアンインストールします。

※ Admin Console上で [移行] ボタンを押下後、30日以内に完了させる必要があります。



7 パッケージのデプロイ (インストール)

ライセンスとアプリケーションをまとめたパッケージを使って、各自のパソコンへCreative Cloudをデプロイします。他社製の遠隔操作ソフトを使えば、対象ユーザーのパソコンへ一括でインストールすることもできます。



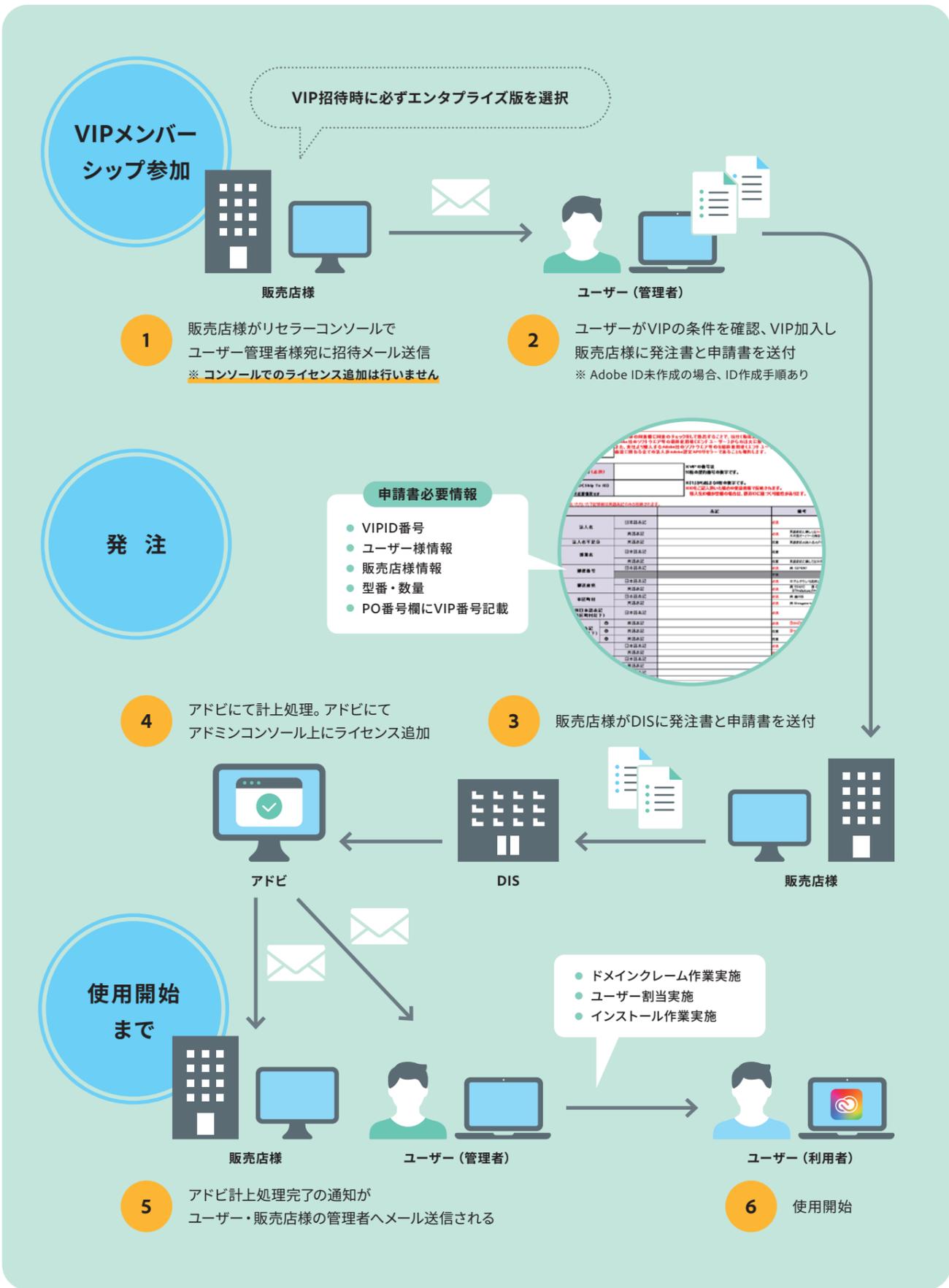
8 デプロイ後の起動確認

デプロイが完了したら、各ユーザーのパソコンで試しにCreative Cloudを起動します。Federated IDでログインすると、連携するエンタープライズディレクトリの画面が表示され、ディレクトリ側で認証が行われます。



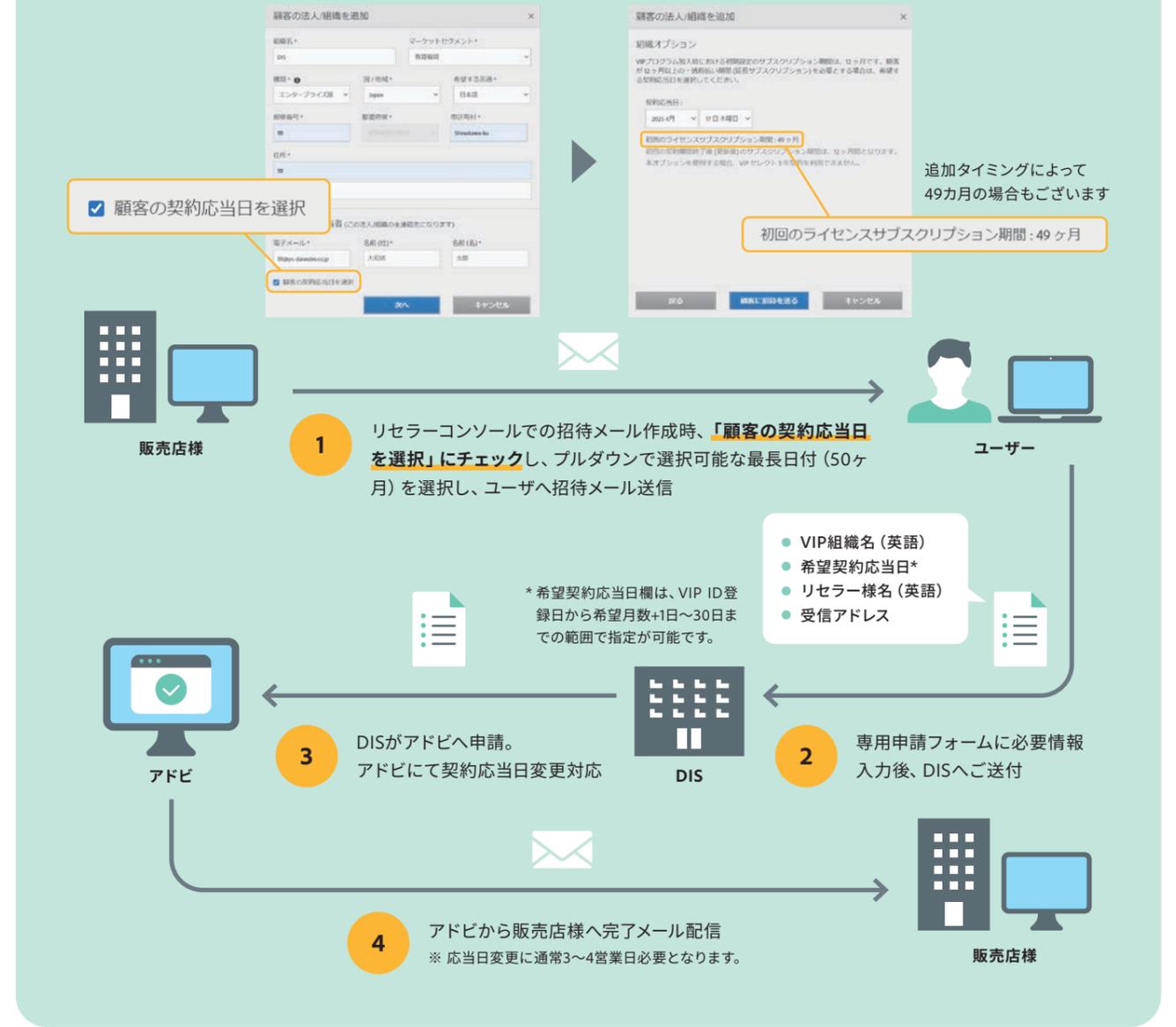
Google連携の場合

ユーザー指定ライセンス 使用開始までの流れ



51カ月発注時の申請手順

リセラーコンソールの契約応当日は最大50か月までの指定のため、下記手順で事前申請が必要です。



無償セットアップ期間について

無償セットアップ期間は、官公庁・教育機関において24ヶ月以上20ライセンス一括同時発注時にご利用可能です。



ご注意ポイント

VIPメンバーシップへの参加方法【ユーザー様作業】

1 アドビからの招待メールを確認する

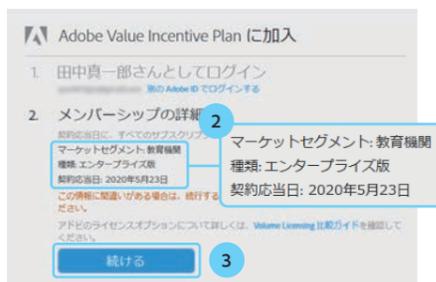
アドビからのメールを確認してユーザー登録を行います。アドビからのメールを表示し、[今すぐ加入] ①をクリックします。



2 ユーザー登録を開始する

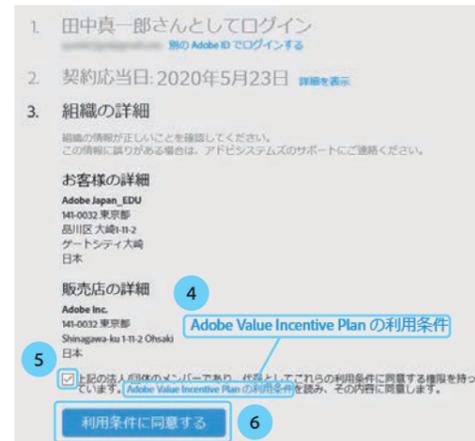
Webブラウザが起動し、登録画面が表示されたら、VIPの種類と契約当日 ②を確認し、[続ける] ③をクリックします。

※ ログイン画面が表示された場合は、パスワードを入力してログインします。



3 組織の詳細などを確認する

[組織の詳細] が表示されたら、[Adobe Value Incentive Planの利用条件] ④の内容を確認し、チェックボックス ⑤をクリック、[利用条件に同意する] ⑥をクリックします。

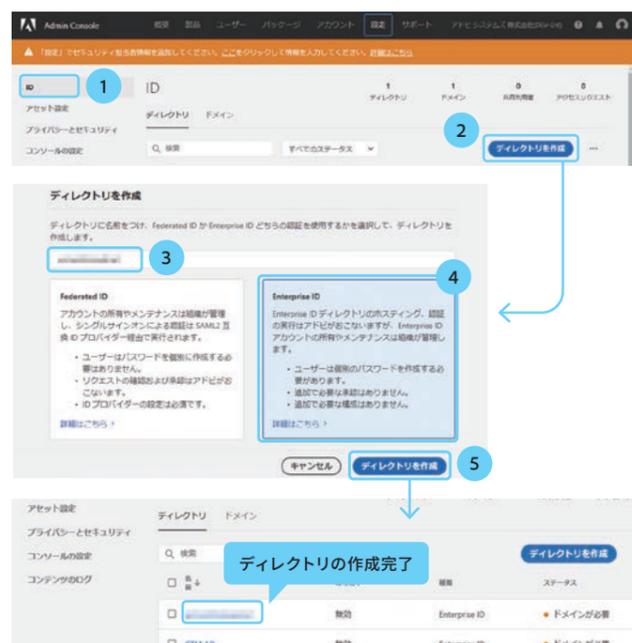


ドメインクレーム設定方法

ドメインホストへのトークン追加方法は、利用ホストやサービスプロバイダーによって異なります

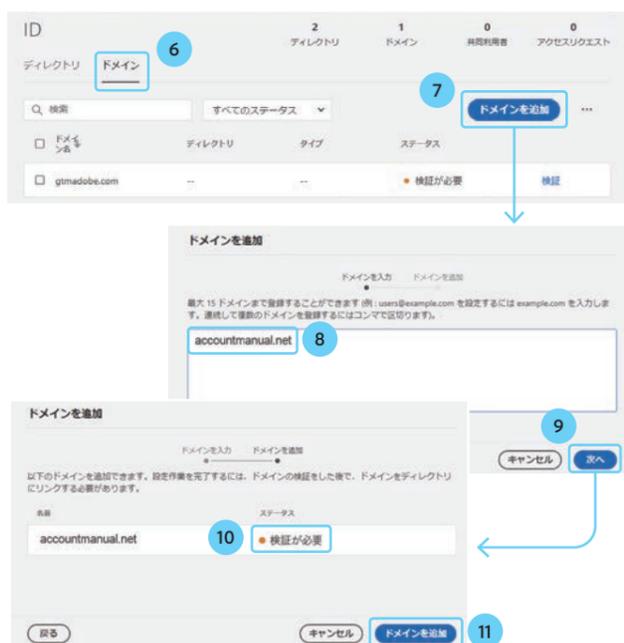
1 ディレクトリを作成する

Admin Consoleにログインして、[設定] タブを表示しておきます。[ID] ①を選択し、[ディレクトリを作成] ②をクリックします。[ディレクトリを作成] の画面が表示されたら、ディレクトリ名を入力 ③し、[Enterprise ID] ④を選択します。[ディレクトリを作成] ⑤をクリックすればディレクトリの作成は完了です。



2 ドメインを追加する

作成したディレクトリにドメインを追加するには、[ドメイン] ⑥を選択し、[ドメインを追加] ⑦をクリックします。[ドメインを追加] の画面で、ドメインを入力 ⑧し、[次へ] ⑨をクリックします。[検証が必要] ⑩と表示されたら、[ドメインを追加] ⑪をクリックします。



ドメインクレーム設定方法【続き】

ドメインホストへのトークン追加方法は、利用ホストやサービスプロバイダーによって異なります

3 ドメインをクレーム(検証)する

[ドメイン] の画面に追加されたドメインが表示され、[ステータス] に [検証が必要] ⑫と表示されたら、[検証] ⑬をクリックします。[ドメインの所有権を検証] の画面で [レコードの値をコピー] または [DNSレコード全体をコピー] ⑭をクリックすると、画面上部に表示されたトークンがコピーされます。組織のドメインホストにログインし、[種別] ⑮を [TXT] に設定し、[内容] ⑯に手順 ⑭でコピーした値をペーストします。[今すぐ検証] ⑰をクリックし、検証が終わるまでしばらくお待ちください。



4 ドメインとディレクトリをリンクする

ドメインがクレームされ、[ステータス] に [ディレクトリが必要] ⑱と表示されたら、[ディレクトリにリンク] ⑲をクリックします。[ドメインとディレクトリをリンク] の画面でリンクするディレクトリを選択 ⑳し、[リンク] ㉑をクリックします。ドメインとディレクトリがリンクされ、[ステータス] に [アクティブ] と表示されていれば完了です。



Google Workspace シングルサインオンについて

Google Workspaceでシングルサインオンを行うには、「Cloud Identity」サービスの登録が必須です。先の管理画面で [お支払い] ①をクリックした後、[登録] の一覧に [Cloud Identity Free] ②または [Cloud Identity Premium] が表示されているかを確認します。なお、Google Workspaceに登録するユーザー数が60を超える場合は、有料の [Cloud Identity Premium] が必要です。



ユーザー指定ライセンス導入の確認と準備

パソコン

- **メモリ**: 8GB以上を推奨
- **SSD**: 128~256GB程度
- **CPU**: 標準的なビジネスユース

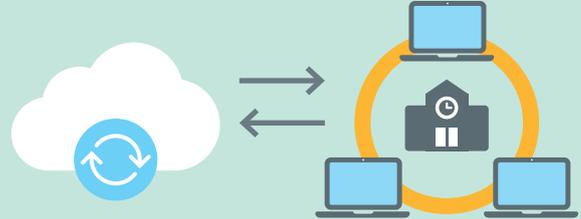
※ 製品導入にあたっては必ず
最新の必要システム構成をご確認ください。



▼ 必要システム構成

<https://www.adobe.com/go/systemrqj>

インターネット接続



クラウドサービスに接続可能な校内LAN

学校ドメインとユーザーID

xxschool.ed.jp
zzschool.ac.jp



name1@xxschool.ed.jp



name2@xxschool.ac.jp



教育機関独自のドメインと、組織内でCreative Cloudを利用
するすべての人のメールアドレス

Google・Azure ADなどの エンタープライズディレクトリ

▼ Google Workspace for Education

<http://bit.ly/3cm7d8Z>

▼ Microsoft Azure AD

<https://bit.ly/2XmYITh>



学校ドメインを認証して、ユーザーID (各自のメールアドレス)
を管理する

Creative Cloud小中高校向け
ライセンスプラン詳細はこちら

<https://www.adobe.com/go/k12j>



アドビ株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー www.adobe.com/jp/
このカタログに記載の情報は、2021年3月時点のものです。内容に関しては予告なく変更される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

Adobe, the Adobe logo, Acrobat, Adobe Premiere Pro, Adobe Spark, Adobe XD, Creative Cloud, the Creative Cloud logo, Dreamweaver, Illustrator, InDesign, and Photoshop are either registered Trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

© 2021 Adobe. All rights reserved. ASJST1752 3/20

Creative Cloud小中高校向けに関するお問い合わせは

